

平成 28（2016）年さけます来遊状況（第 1 報：8/31 現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 来遊数は 594 万尾 [前年同期：314%、平年*1 同期：109%]
- 平成 16（2004）年以降の来遊数から判断した場合、今年是不漁年に当たる
- 8 月末までの来遊数としては、平成 16（2004）年以降の偶数年では一番多い

*1：平年とは、平成元（1989）～平成 27（2015）年の平均値

（北海道）

8 月 31 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 594 万尾 [前年同期：314%、平年同期：109%] となっています。

カラフトマスの来遊数は隔年変動することが多く、北海道では平成 16（2004）年以降、奇数年が豊漁年、偶数年が不漁年に相当します。今年是不漁年の年回りですが、8 月末時点の来遊数は平成 16（2004）年以降の偶数年では一番多く、平成 20（2008）年、平成 22（2010）年に近い水準となっています（表 1 および図 1）。

来遊年	8/31 現在	最終
2006(H18)	278	559
2007(H19)	1,335	1,491
2008(H20)	552	704
2009(H21)	954	1,111
2010(H22)	554	731
2011(H23)	494	553
2012(H24)	168	221
2013(H25)	268	325
2014(H26)	119	158
2015(H27)	189	210
2016(H28)	594	-
平年	546	831

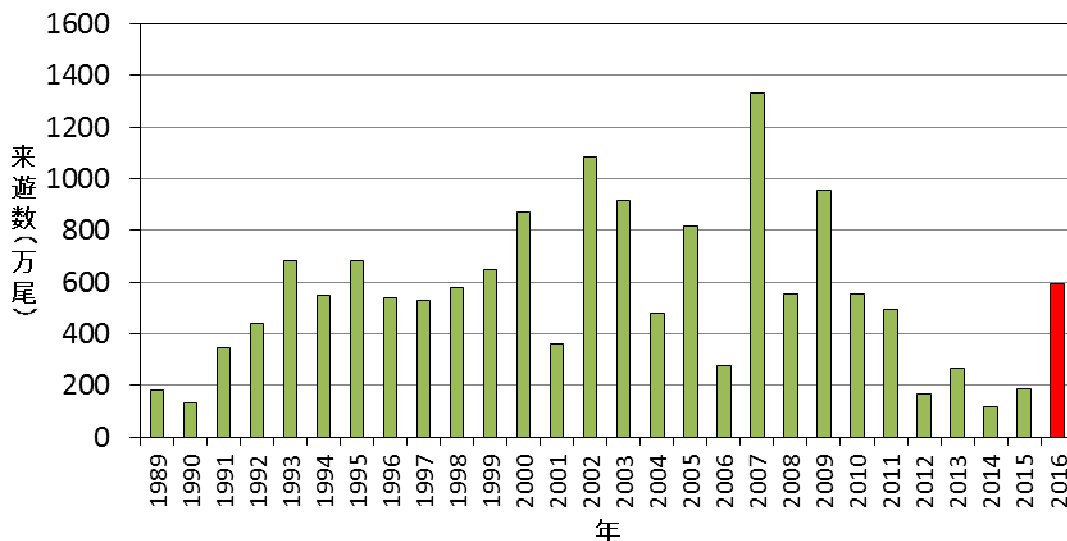


図 1. 7 月 1 日～8 月 31 日までのカラフトマス来遊数（累計値）。2016 年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区及び日本海区、以下同）では 547 万尾〔前年同期：350%〕、太平洋側（根室～えりも以西海区、以下同）では 47 万尾〔前年同期：143%〕と、両地域ともに前年を大きく上回っています。

カラフトマスの河川捕獲数は、8 月末時点で 14 万尾〔前年同期：127%、平年同期：61%〕となり、平成 18（2005）年以降の不漁年では平成 22（2010）年に次ぐ水準となっています（表 2）。また、相次ぐ台風によって河川が増水し、相当数の親魚が捕獲施設を越えて上流に遡上したものと推測されます。

捕獲年	8/31 現在	最終
2006(H18)	9	94
2007(H19)	57	144
2008(H20)	27	92
2009(H21)	56	131
2010(H22)	20	87
2011(H23)	31	59
2012(H24)	8	26
2013(H25)	17	48
2014(H26)	6	26
2015(H27)	11	24
2016(H28)	14	-
平年	23	88